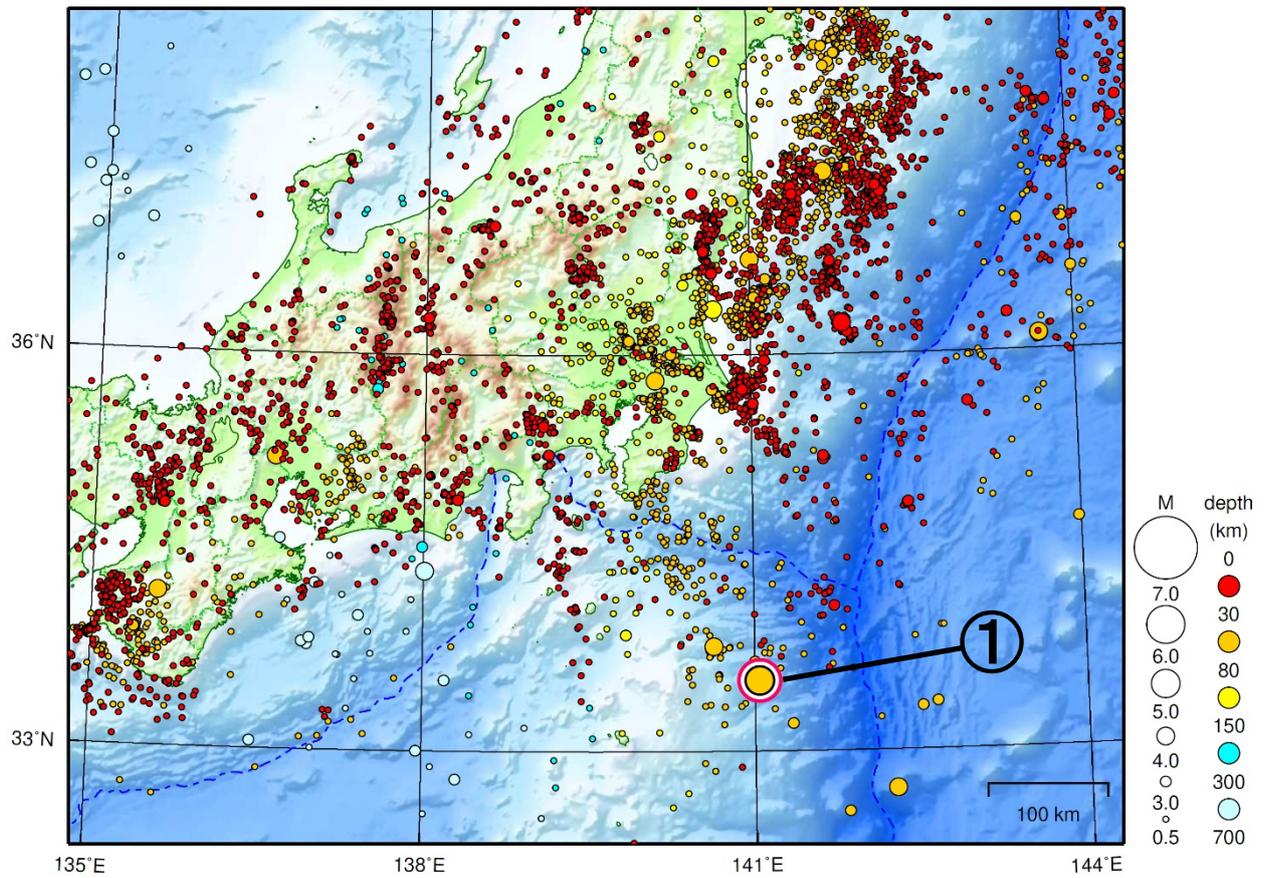


関東・中部地方

2020/10/01 00:00 ~ 2020/10/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

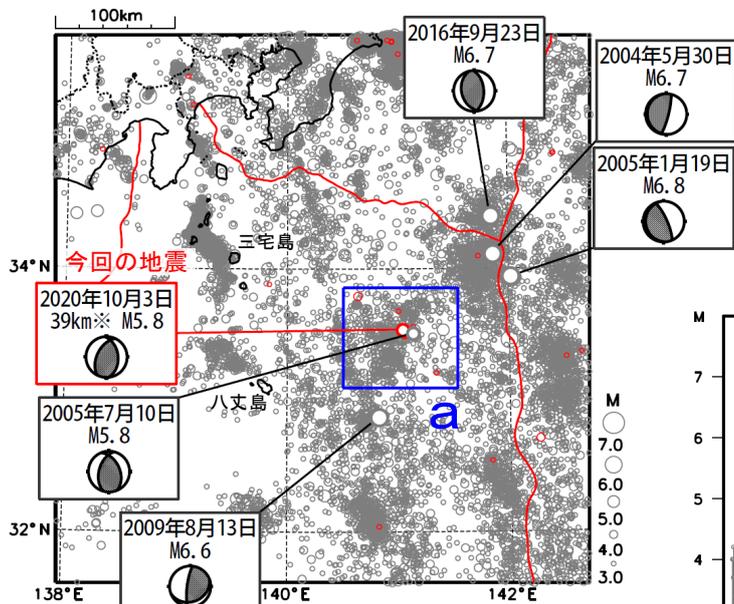
- ① 10月3日に八丈島東方沖でM5.8の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

10月3日 八丈島東方沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日~2020年10月31日、
深さ0~150km、 $M \geq 3.0$)
2020年10月の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解

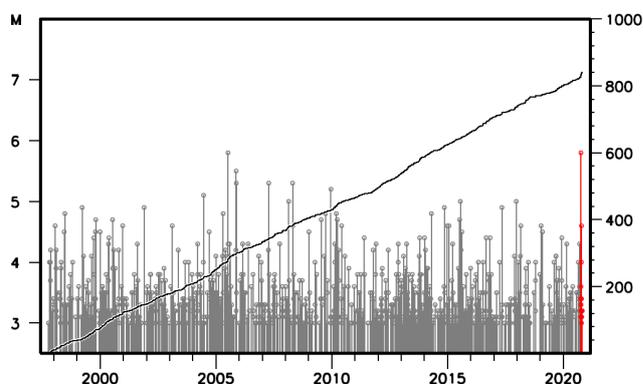


赤線は海溝軸を示す。
※深さはCMT解による

2020年10月3日18時31分に八丈島東方沖の深さ39km (CMT解による) でM5.8の地震 (最大震度3) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は、東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

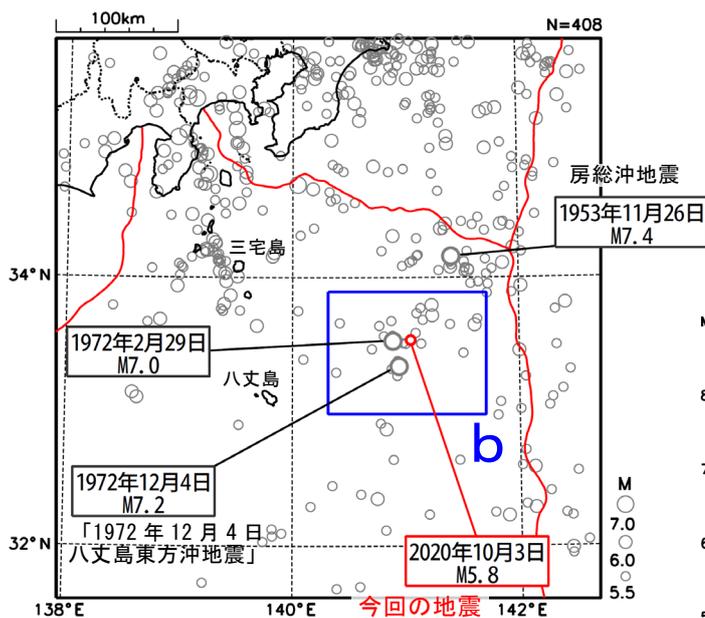
1997年10月以降の活動をみると、2005年7月10日にも今回の地震の震源付近でM5.8の地震 (最大震度3) が発生するなど、今回の地震の震央周辺 (領域a) では、M5.0以上の地震が時々発生している。

領域a内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の震央周辺 (領域b) では、M6.0以上の地震が時々発生している。このうち、1972年2月29日のM7.0の地震 (最大震度5) 及び同年12月4日のM7.2の地震 (「1972年12月4日八丈島東方沖地震」、最大震度6) では、それぞれ、館山市布良で最大23cm、串本町袋港で最大35cmの高さの津波を観測した。また、これらの地震により、八丈島で道路・水道の損壊や落石等の被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図
(1919年1月1日~2020年10月31日、
深さ0~150km、 $M \geq 5.5$)
2020年10月の地震を赤く表示



赤線は海溝軸を示す。

領域b内のM-T図

